

# 水芭蕉が蔵マスターにてプラチナ賞をw受賞

平成29年6月26日「Kura Master Paris 2017」がフランス・パリで行われこの度以下の通りメダル受賞酒が決定致しました。

純米大吟醸部門（精米歩合50%まで）と純米部門（精米歩合51%より）の2つのカテゴリーごとに審査員によるブラインドティスティングを行いその成績によりプラチナ賞金賞、さらにプレジデント賞・審査員特別賞の表彰となります。

フランス人が同国で審査する初めての日本酒品評会「蔵マスターコンクール」（蔵マスター協会主催）で、永井酒造（川場村）の「水芭蕉 純米大吟醸 翠」が純米大吟醸部門の上位5銘柄に選ばれた。ワインの本場で日本酒の評価に注目が集まる中、このほかにも本県の4銘柄が入賞し、結果を残した。

純米大吟醸上位5銘柄

## 永井酒造「水芭蕉 翠」

同部門では「水芭蕉 純米大吟醸 翠」のほか、同社の「水芭蕉 純米大吟醸」、島岡酒造（太田市）の「群馬泉 淡緑」がプラチナ賞を受賞。聖酒造（渋川市）の「聖山田錦 純米吟醸 EV OKÉ」も金賞となった。純米部門では、土田酒造（川場村）の「山麿仕込 土田 純米吟醸」が金賞。純米大吟醸、純米の2部門に550銘柄が出品された。上位33%が受賞した。

し、プラチナ賞は58銘柄、金賞は123銘柄。各部門の上位5銘柄からプレジデント賞と審査員特別賞を選出し、10月にパリで開かれるイベントで発表する。

品評会を通して日本酒をアピールしようとする。審査員はフランス人のソムリエやホテル、レストラン、料理学校などの関係者で、講習会を開いて日本酒についてあらかじめ学んでから審査した。

仏の日本酒品評会



新聞記事より29年7月14日

